allcinema

Ｔｏｍｍｙ／トミー（1975）

TOMMY

メディア 映画
ジャンル ミュージカル
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 111分
初公開日 1976/04/24
公開情報 東宝東和

【キャッチコピー】
初めて映画に登場した衝撃のサウンド・システム！《ＱＳクインタフォニック方式》上映！
ぼくを見て！ぼくに触れて！……それはひきさかれた青春の叫び！

【解説】
“ザ・フー”の傑作ロック・オペラの映画化で、舞台での上演を想定して製作したレコードが大元。その演奏と比較すれば、シンセサイザーの装飾過多や統制のとれないボーカル陣が脆弱だが、まず映画となったロック・ミュージカルでは最高峰だろう。ラッセルの映像魔術が開花した驚異的なイメージが幾つかあるし、何はともあれ曲は“ザ・フー”、本物のロック・サウンドだ。
先の大戦で空軍パイロットの夫に先立たれ、ノーラは息子トミーと訪ねた夏のキャンプのガイド、フランクと再婚。が、ある夜、突如帰還した前夫（顔にひどい火傷跡）に錯乱したフランクは彼を殴り倒し、それをトミーに見られてしまう。何も見ず聞かなかったことにし黙っているよう、両親からきつく言い渡されたトミーはそのまま三重苦になる。病んだ心は彼を幻想の旅へと誘い、家族で遊園地に遊んでもうわの空で、ビデオ・ゲームの戦闘機に意識を飛ばすと、それは万華鏡のように拡散して彼を包み込む。母は彼の障害を除こうとして、あれこれ試みる。クラプトンが“唄う教祖”となっている新興宗教はモンロー像を崇拝し、聖餐にはウィスキーに睡眠薬が出される。Ｔ・ターナーのアシッド・クィーンは強烈。無数の注射器をあしらった治療器具はひとがたで、「メトロポリス」のロボットのよう。そこに彼女はトミーを放り込み、エロティックな夢を見させる。彼（成長して“ザ・フー”のボーカル、ダルトリーが演じる）のお守りをする親戚は変態ばかり。が、廃車捨て場に逃げたトミーはそこにあったピンボールに霊感を受け、そのゲームの天才児と評判になり（ここでエルトンが主題歌“Pimball Wizard”を唄う）、巨万の富を得、精神科医ニコルソンの診療を受けた後、突如自力で治癒する。この奇跡が彼を教祖に祭り上げていくのだが……。非常にメッセージ的な内容で、チョコレート塗れになる母親役のマーグレットの熱演が印象的。

【クレジット】

監督	ケン・ラッセル	Ken Russell	
製作	ロバート・スティグウッド	Robert Stigwood	
	ケン・ラッセル	Ken Russell	
製作総指揮	ベリル・ヴァーチュー	Beryl Vertue	
	クリストファー・スタンプ	Christopher Stamp	
原案	ピート・タウンゼント	Pete Townshend	（オリジナル原案）
脚本	ケン・ラッセル	Ken Russell	
撮影	ディック・ブッシュ	Dick Bush	
	ロニー・テイラー	Ronnie Taylor	
音楽	ピート・タウンゼント	Pete Townshend	
出演	ロジャー・ダルトリー	Roger Daltrey	トミー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

アン＝マーグレット	Ann-Margret	ノラ（母親）
オリヴァー・リード	Oliver Reed	フランク（義父）
エルトン・ジョン	Elton John	ピンボールの魔術師
キース・ムーン	Keith Moon	アーニー（叔父）
ロバート・パウエル	Robert Powell	ウォーカー大佐
ジャック・ニコルソン	Jack Nicholson	専門医
ティナ・ターナー	Tina Turner	麻薬の女王
エリック・クラプトン	Eric Clapton	伝道師
ザ・フー	The Who	ザ・フー
ポール・ニコラス	Paul Nicholas	ケヴィン（いとこ）
バリー・ウィンチ	Barry Winch	少年時代のトミー
ケン・ラッセル	Ken Russell	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.